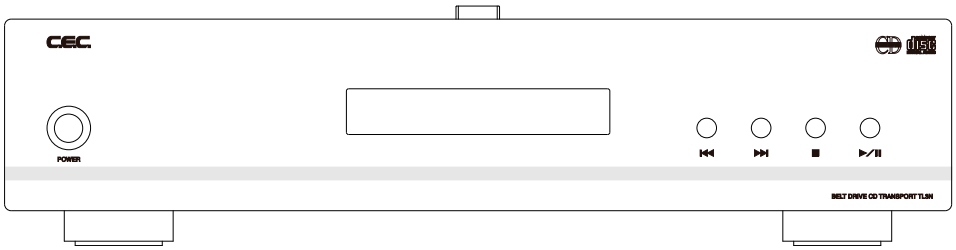
BELT DRIVE CD TRANSPORT

TL3N

取扱説明書



C.E.C.

もくじ

●はじめに …… 2
●本機の特徴 …… 2
●安全上のご注意 …… 3
●使用上のご注意 …… 6
●コンパクトディスクについて …… 7
●付属品について …… 9
●フロントパネルの機能 …… 10
●CDドアの内部 …… 11
●リアパネルの機能 …… 12
●スーパーリンクとは？ …… 13
●接続の仕方 …… 13
●再生の仕方 …… 15
●リモートコントロールユニット …… 16
●プログラム再生 …… 18
●その他のお知らせとお願い …… 20
●お手入れの仕方 …… 20
●保証とアフターサービス …… 21
●主な仕様 …… 23

はじめに

この度は、CECベルトドライブCDトランスポートTL3Nをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の特徴を正しくご理解いただき、末永く安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

外装箱や梱包材は再輸送の際に必要ですので、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

本機の特徴

●TL3Nは、モーターから発生する機械振動や電磁ノイズをシャットアウトし、信号を忠実に読み取るCEC独自のベルトドライブ方式のメカニズムを採用したCDトランスポートです。

●スピンドルもピックアップもベルトで駆動するダブルベルトドライブ方式の採用により、音楽信号へのノイズ混入の可能性を極限まで減らし、精確で繊細な音楽再生を可能にしました。

●ベルト駆動方式に欠かせない高精度スタビライザーを使用したトップローディング方式で、安定したディスク回転を実現しています。

●CEC独自のSUPERLINKを始めとする各種デジタル出力端子を装備。特に対応するCECのD/Aコンバーターと高品位BNCケーブルでSUPERLINK接続することで、極めて歪みの少ない精確な信号伝送が可能になります。

●更に、ワードクロック入力端子を装備。外部クロックジェネレーターと接続することで、ジッターゼロ管理をトランスポートからD/Aコンバーターに至るまで徹底できます。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。記号の意味をよくご理解の上、本文をお読みください。

記号の意味

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性があります。

注意を促す記号

一般的な注意

感電注意

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

分解禁止

必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

電源プラグを
コンセントから抜く

一般的な強制

警告！

万一、次のような異常が起きたら …

・煙が出たり、変なにおいや音がする。
・機器の内部に異物や水が入った。
・落としたり、キャビネットを破損した。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

・電源ケーブルを傷つけない。
・電源ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを本機の下敷きにしない。
・電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

ケーブルが破損すると、火災、感電の原因となります。万一、電源ケーブルが傷んだら（心線の露出、断線など）、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。

・電源プラグにほこりをためない。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災、感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

・機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると、火災、感電の原因となります。

警告！

・表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。

・この機器のカバーは絶対に外さない。
カバーを開けたり改造すると、火災、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

・この機器のカバーを開けたり、内部に手を入れない。
この表示部分に手を近づけたり触れたりすると、感電やけがの原因となります。

注意！

・この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は15cm以上離して置く。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
・湿気やほこりの多い場所に置かない。
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災、感電やけがの原因となることがあります。

・電源コードを熱器具に近づけない。
コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。

・電源プラグは、異常が発生した時にすぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

・旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

・お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

・移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

❶他の機器と接続するとき

他の機器と接続するとき、または接続を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントから外すときは、必ずプラグを持って抜いてください。

❷本機の電源を入れるとき、切るとき

・電源を入れるときは、本機の電源を先に入れてから、D/Aコンバーターやアンプの電源を入れてください。

・電源を切るときは、アンプやD/Aコンバーターの電源を切ってから本機の電源を切るようにしてください。

※本機の電源を入れたり切ったりするときに発生する微小ノイズがアンプで増幅されて、スピーカーや他の機器を破損するおそれがあります。ご注意ください。

❸電源電圧はAC100V

本機は、定格電圧100Vでご使用ください。

❹光学式ピックアップ（半導体レーザー）

光学式ピックアップは、CDトランスポートの性能を決める重要な部分のひとつです。レンズ部分に指などで触れないようにしてください。レンズの表面をきれいに保つために、ご使用にならないときは、CDドアを閉めておいてください。

❺スタビライザー

CDをホールドするスタビライザーは付属のものをご使用ください。スタビライザーは落としたりすると、変形しバランスを崩す可能性があります。高価な精密部品ですのでお取り扱いには十分ご注意ください。

❻取り扱いはていねいに

スイッチやツマミ、CDトレイ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

❼設置場所について

音質や性能を最大限に発揮させるためにも、オーディオ専用ラックを使用されることをお奨めいたします。

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質の悪化や故障などの原因となります。ご注意ください。

・窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所（周囲温度35℃以上）、または温度の特に低い場所（周囲温度10℃以下）では、製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。

・湿度の多い場所（湿度90%以上)では金属部分にサビが生じたり故障の原因となります。

・ほこりの多い場所はスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり、性能を損なうことがあります。

・その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムを拾う原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。

❽ 水に濡れたら

万一雨がかかったり、花びんなどの水を本機にこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

❾ 落雷に対する注意

落雷の恐れのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。

❿ 結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると結露が生じ、製品の性能が十分引き出せなくなることがあります。

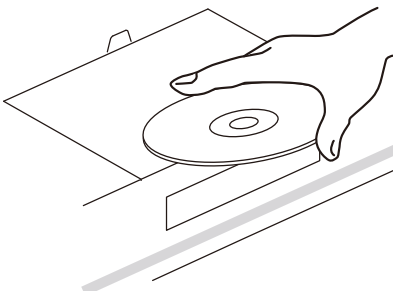
このような場合は、結露の程度にもよりますが、1～2時間そのまま放置し、本機を室温に保つようにしてください。結露は徐々になくなります。

⓫ 演奏を聴くエチケット

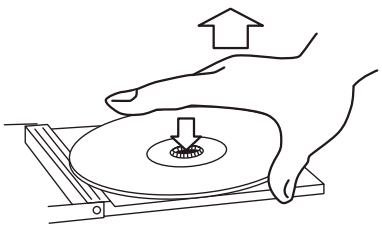
音量は他の人や近隣の迷惑にならないように気を配り、お互いの快い生活環境を乱さないように十分注意しましょう。

コンパクトディスクについて

●ディスクは、必ずレーベル面を上にして、少し先端を下げながらセットしてください。

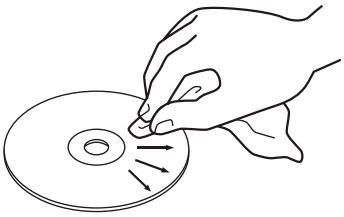


●ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

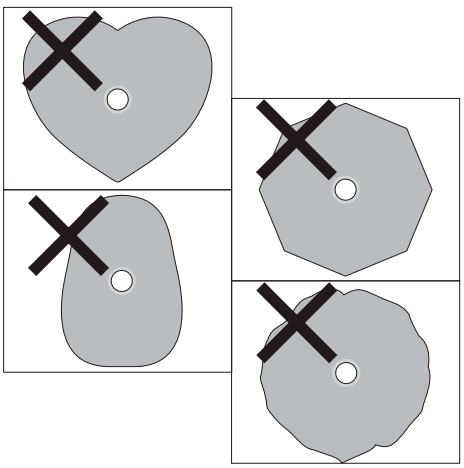


●信号録音面（レーベルがない面）に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

●信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。
●レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。



●直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
●使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
●ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、故障の原因となることがあります。
●ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
●ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



CD-R/RWディスクの取り扱い

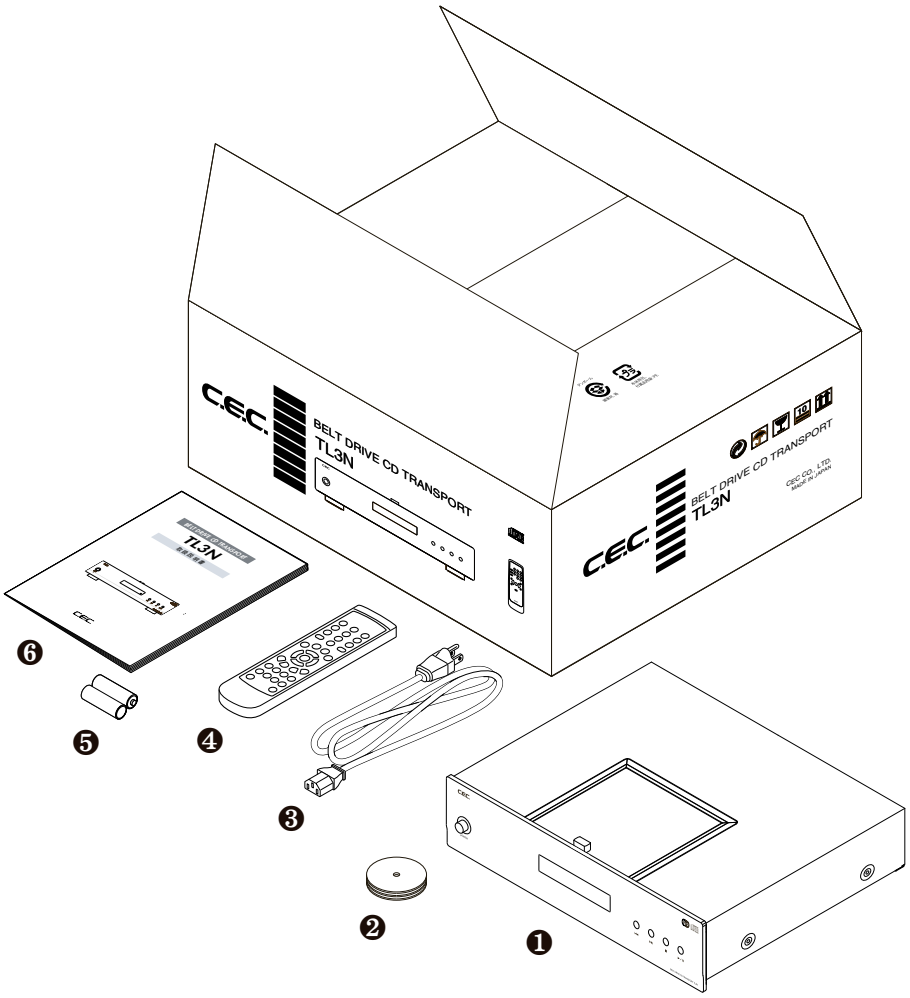
●本機はファイナライズ済みのCD-R/RWの再生にも対応しています。
●ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。

付属品について

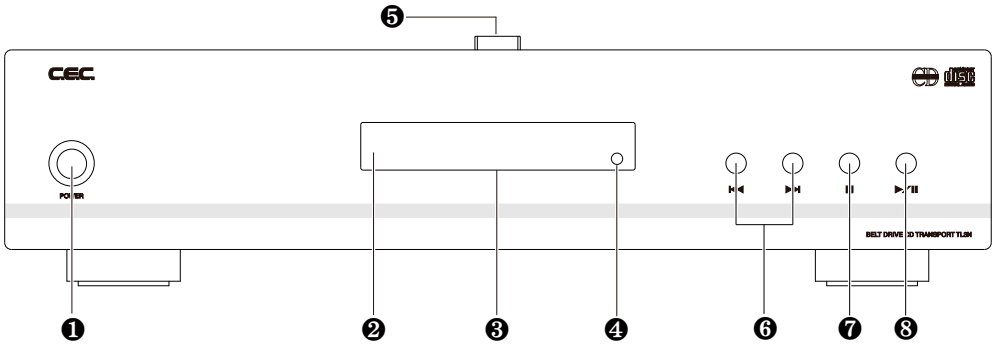
TL3Nの外装箱の中には、次のものが入っています。最初にご確認ください。

❶TL3N本体
❷スタビライザー
❸電源ケーブル
❹リモコン
❺リモコン用単4形乾電池(2本)
❻取扱説明書
❼保証書(外装箱に添付)

※外装箱や梱包材は再輸送の祭に必要ですから、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
※付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



フロントパネルの機能



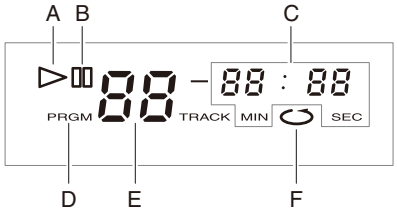
❶電源スイッチ

電源スイッチです。押すと本機に電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。電源を入れるとスイッチ周りが青色点灯します。ディスプレイには "0 0:00" が点滅し、CDの有無を確認します。約5秒後にCDがセットされていない場合は "no dISC" と表示され、CDがセットされている場合には、総曲数と総再生時間が表示されます。

❷リモートセンサー

リモコンからの信号を受けるセンサーは、ディスプレイパネルの左端にあります。リモコンを正しくセンサーの方向に向けて操作してください。リモコンとセンサーの間に障害物があると正しくリモート操作が機能しないことがありますのでご注意ください。

❸ディスプレイパネル



CDをセットした状態で、総トラック数、総再生時間、CD再生中は、トラック番号、曲の再生経過時間などが表示されます。

A. プレイ ▷ インジケーター
再生モードで点灯します。

B. ポーズ ▌▌ インジケーター
ポーズ（一時停止）モードで点滅します。

C. タイム ディスプレイ
経過時間、残量時間、総残量時間、総経過時間を表示します。

D. プログラム インジケーター
プログラム再生モードで点灯し、Eに曲順を表示します。

E. トラックナンバー ディスプレイ
演奏中のトラック番号を表示します。

F. リピート インジケーター
リピートモードで点灯します。

❹ワードクロック インジケーター
接続した外部のクロックジェネレーターから入力するクロック信号で動作しているときに点灯します。

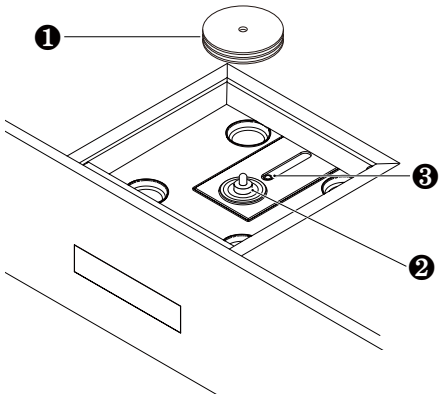
❺CDドア
手で後ろへスライドさせて開き、ディスクをセットします。

❻スキップ I◀◀ / ▶▶I ボタン
再生中に ▶▶I を押すと、次の曲にスキップして再生します。希望する曲番になるまで▶▶Iを続けて押してください。
再生中にI◀◀を1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生するときは、I◀◀を続けて押してください。

❼ストップ ■ ボタン
再生中に押すと、CDの再生が停止します。

❽プレイ / ポーズ ▶ / ▌▌ ボタン
再生を開始、または再生中の曲を一時停止します。

CDドアの内部

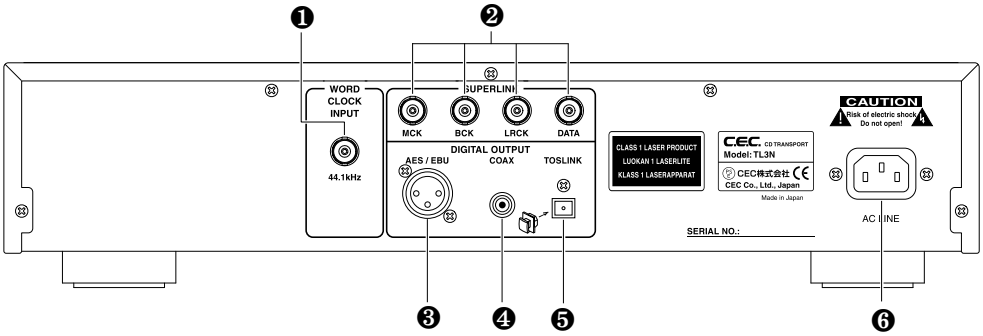


❶スタビライザー
直径7cm, 質量330gの スタビライザー(付属品)です。 セットするときや取り外すときには、縁をしっかりと持ってください。真円やバランスを考慮した精密部品ですので、床に落としたりして偏重心が生じると、CDの読み取り精度や音質に影響します。お取り扱いは十分ご注意ください。

❷ターンテーブル
CDをセットしてからスタビライザーを乗せます。再生しないときなど、CDをセットしてない場合でも、スタビライザーはターンテーブルに乗せておくことができます。

❸光学式ピックアップ
CDに記録された信号を読み取るピックアップのレンズです。きれいに保ち性能を損なわいようにするため、指などで直接触れないでください。

リアパネルの機能



❶ワードクロック入力

外部のクロックジェネレーターが発振するワードクロック44.1kHzを入力する端子です。75ΩのBNCケーブルをご使用ください。外部のワードクロックで本機が動作しているとき、ディスプレイパネルの右端にあるLEDが青色に点灯します。

※外部からのワードクロック信号で動作していても、スーパーリンクへ切替えると、スーパーリンクが優先され動作しますので、青色のLEDは消灯します。

❷スーパーリンク

CEC独自規格のデジタル入出力端子です。MCK, BCK, LRCK, DATAの4つの端子があります。対応するCECのD/Aコンバーターとスーパーリンク接続するときに使用します。75ΩのBNCケーブル4本をご使用ください。

❸AES/EBU

XLR型デジタル出力端子です。AES/EBU(XLR)入力端子を備えたデジタルオーディオ機器と接続します。110ΩのXLRケーブルをご使用ください。

❹COAXIAL

RCA型のデジタル出力端子です。COAXIAL(RCA)入力端子を備えたデジタルオーディオ機器と接続します。75Ωの同軸ケーブルをご使用ください。

❺TOS LINK

光デジタル出力端子です。TOS LINK光デジタル入力端子を備えたデジタルオーディオ機器と接続します。角型の光ケーブルをご使用ください。

使用しないときは、キャップを戻しておいてください。

❻AC LINE

付属の電源コードを接続し、ご家庭のコンセント(100V)に接続します。

スーパーリンクとは？

音楽信号とクロックなどの同期信号を独立したケーブルで伝送するCEC独自のデジタル伝送方式です。

一般的な同軸デジタル出力や光出力などに使われているSPDIF(Sony Philips Digital InterFace)やAES/EBU(Audio Engineering Society/European Broadcasting Union)などの伝送方式は、オーディオデータと制御のためのクロック信号を1本のケーブルで伝送するため、原理的に信号同士の干渉から生じるジッターの発生を免れることができません。

CECが開発したスーパーリンクは、SPDIF方式などのエンコード/デコードを経由することなくオーディオデータとクロックデータを分離して伝送。D/Aコンバーター側のマスタークロック・ジェネレーターから送出されるクロックを利用して信号を完全に同期させ、伝送に伴う音質劣化を最小限にとどめます。

各系路は次のような信号を送出 / 受信しています。

MCK(マスタークロック): この系路を通じてD/Aコンバーターからマスタークロックが送られてきます。マスタークロックを受け取るとCDトランスポートはD/Aコンバーターのスレーヴとして働くようになり、D/Aコンバーターとの間で完全に同期したオーディオデータの伝送が可能になります。

BCK(ビットクロック): CDトランスポートからD/Aコンバーターへ、デジタルデータのビットの識別に必要なビットクロックを送信します。

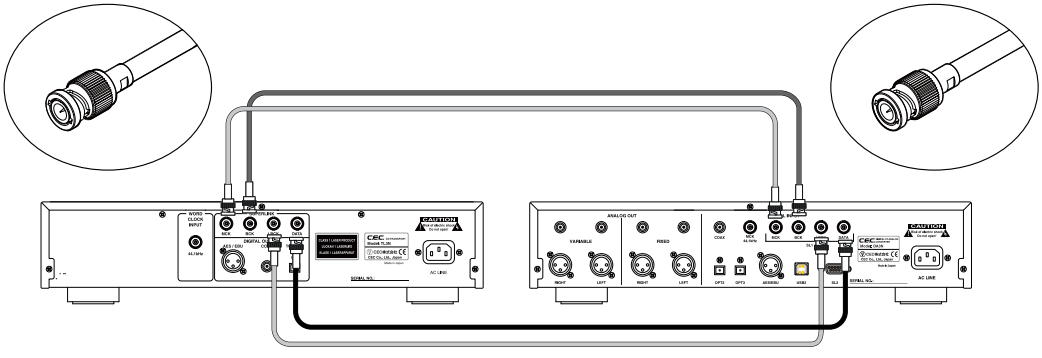
LRCK(L/Rクロック): 左右の信号を識別するL/Rクロック(ワードクロック)を送信します。

DATA(データ): トランスポートからD/Aコンバーターにオーディオ信号を送信します。

接続の仕方

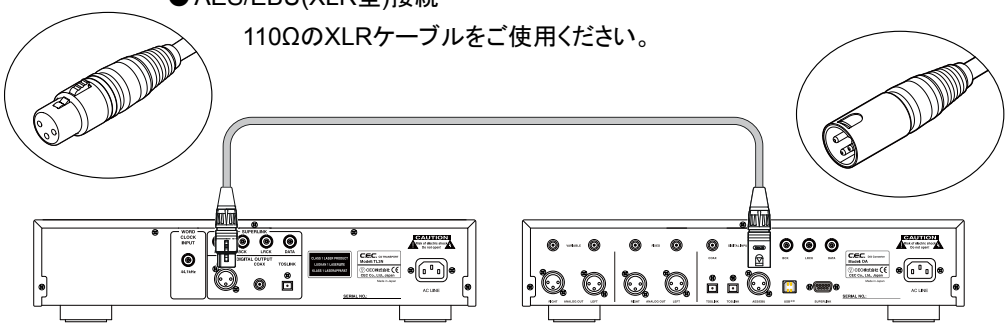
●スーパーリンク(SUPERLINK)接続

スーパーリンク対応の D/A コンバーター側の同記号の端子と75ΩのBNCケーブルを使って接続してください。



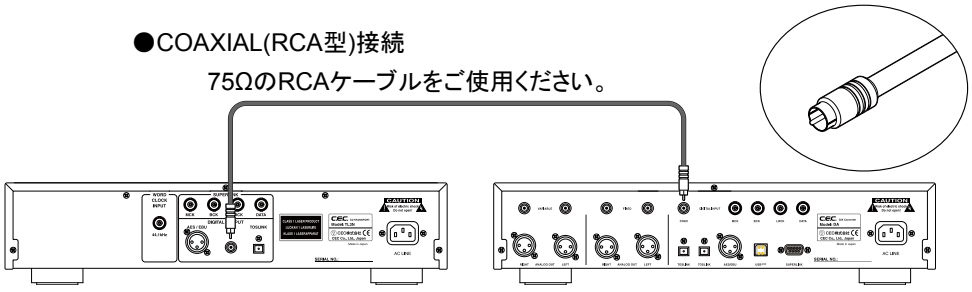
●AES/EBU(XLR型)接続

110ΩのXLRケーブルをご使用ください。



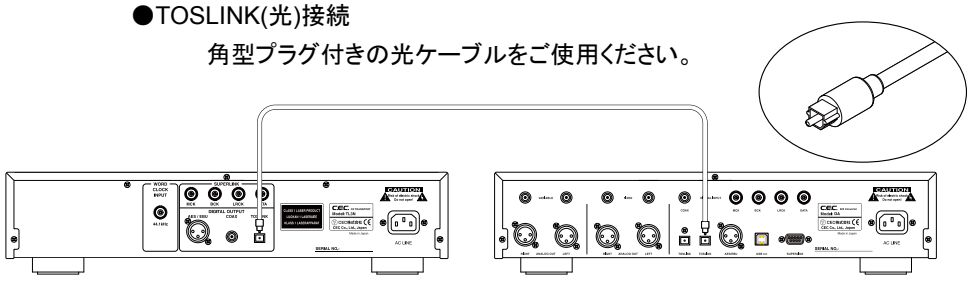
●COAXIAL(RCA型)接続

75ΩのRCAケーブルをご使用ください。



●TOSLINK(光)接続

角型プラグ付きの光ケーブルをご使用ください。



●WORD CLOCK(ワードクロック)接続

75ΩのBNCケーブルを使って接続してください。

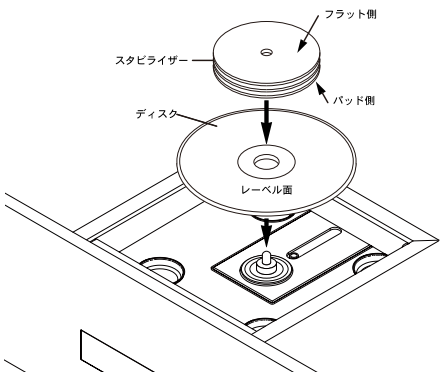
再生の仕方

●通常再生

❶電源スイッチを押して電源を入れます。

❷手でCDドアを後ろ側へスライドさせて開きます。CDドアが開いているときは、ディスプレイに "OPEn" と表示されます。

❸スタビライザーの縁をしっかりと持って持ち上げます。ターンテーブルにディスクを乗せ、その上にスタビライザーを静かに乗せます。



※スタビライザーを乗せないとディスクがターンテーブルから外れ、ディスクの読み取りができない上に、ディスクが傷つくことがありますので、スタビライザーを乗せ忘れないようにご注意ください。

※付属以外のスタビライザーは性能を損なう恐れがありますので、使用できません。

※ディスクはレーベル面を上にして乗せてください。

❹手でCDドアを前側へスライドさせて閉めます(完全に閉めないとディスクの読み込みができません)。ディスクが回転を始めディスク情報を読み取り、約5秒後に総曲数と総再生時間を表示します。PLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押さずにそのままにしておくと、約10秒後に1トラック目の再生待機の表示に変ります。

❺PLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押します。再生が始まります。

ディスプレイに(▷)とトラックナンバーを表示し、次に経過時間が表示されます。

●曲を前後にスキップするとき

再生中にスキップ ▶▶I ボタンを押すと次の曲にスキップします。スキップ I◀◀ ボタンを押すと再生中の曲の頭に、続けてもう一度押すと前の曲にスキップします。複数曲スキップするときは、スキップしたい回数だけ押します。

●一時停止するとき

PLAY/PAUSE▶/❚❚ ボタンを押します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

●再生を停止するとき

STOP■ ボタンを押します。

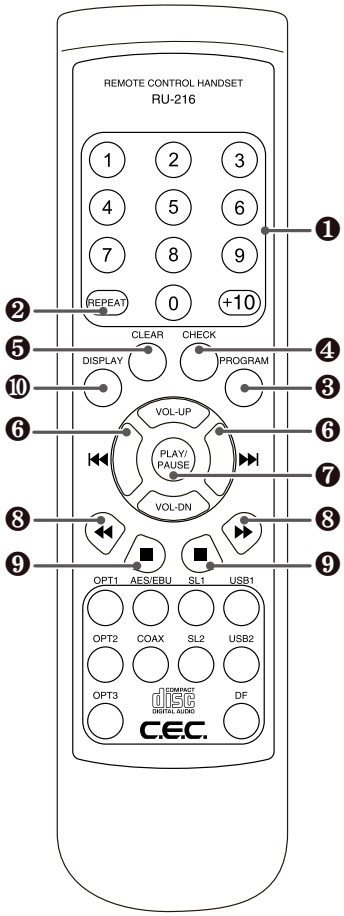
※ STOP■ボタンを押さずにCDドアを開けると再生は停止しますが、ディスクの回転が止まるまで数秒かかります。回転が完全に止まるまではスタビライザーとディスクには触れないでください。万が一、回転中に手を触れて回転メカニズムに無理な力がかかりますと、故障の原因となります。

●ディスクを取り出すとき

手でCDドアをスライドさせて開きます。スタビライザーの縁をしっかり持って取り外し、ディスクを取り出します。スタビライザーをターンテーブルに戻し、手でCDドアをスライドさせて閉めます。

※再生終了後、ディスクはそのままにせず、取り出しておいてください。再生しないときなど、ディスクをセットしていない場合でもスタビライザーはターンテーブルに乗せておくことができます。

リモートコントロールユニット



●ボタンの機能

❶～❿までのボタンは本機で機能し、その他のボタンはD/Aコンバーター DA3N用です。

❶テンキー

聴きたい曲をダイレクトに選択できます。また、曲をプログラムするときに使用します。※ 10曲目以降は+10を押してから、20曲目以降は+10を2回押してから0～9を押します。

❷REPEAT(リピート)ボタン

全曲を繰り返し再生するとき、再生中または停止中に押すと、ディスプレイにリピートインジケーター(↻)が点灯し、リピート再生モードになります。停止中のときは、PLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押しリピート再生を始めてください。ボタンをもう一度押すと、リピート再生はキャンセルされます。

❸PROGRAM(プログラム)ボタン

聴きたい曲を聴きたい順に32曲までプログラム(登録)し再生できます。詳細は18ページ「プログラム再生」の項目をご参照ください。

❹CHECK(チェック)ボタン

プログラムした曲と順番を確認したいときに押します。詳細は18ページの「プログラム再生」の項目をご参照ください。

❺CLEAR(クリア)ボタン

プログラムした曲を取り消すときに押します。詳細は18ページの「プログラム再生」の項目をご参照ください。

❻スキップ|◀◀/▶▶|ボタン

再生中や停止中に前後の曲に移動します。

❼PLAY/PAUSE▶/❚❚ボタン

再生を開始、または再生中の曲を一時停止します。

❽サーチ◀◀/▶▶ボタン

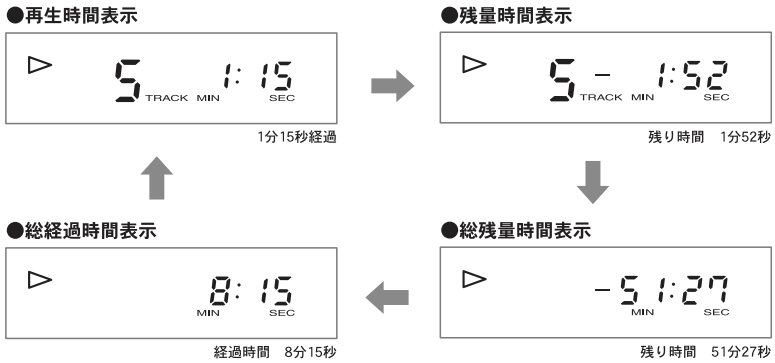
再生中の曲を早戻し◀◀または早送り▶▶します。本体のフロントパネルには、この機能のボタンはありません。

❾ストップ ■ ボタン

再生を停止します。

❿DISPLAY(ディスプレイ切り換え)ボタン

ディスプレイの表示を切り換えます。最初の曲番号と再生経過時間の表示から、1回押すごとに、その曲の残り再生時間、ディスク全体の残り再生時間、ディスク全体の再生経過時間へと表示が切り替わります。



※プログラムとリピート再生中は、総残量と総経過時間は表示されません。

●リモコンの使用上の注意

・フロントパネルのリモートセンサー部分に直射日光を当てないでください。誤動作の原因となることがあります。

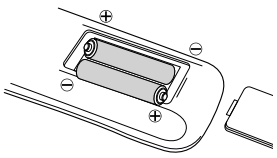
・リモートコントロールユニットを操作するとき、送信機と本機との間に障害物があると正しく動作しません。

・リモートコントロールを操作するとき、リモコン送信機を本機のリモートセンサー部に向けてください。

・電池が消耗するとリモートコントロールは動作しません。この場合は同じタイプの新しい電池と交換してください。

●電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れてください。



●電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

●電池の取り扱い

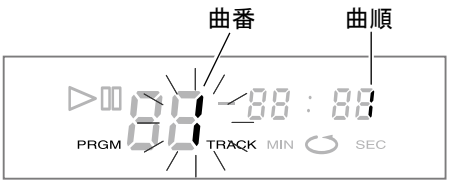
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

❶乾電池の⊕と⊖の向きを電池ケースに表示されている通りに正しく入れてください。
❷新しい乾電池と古い乾電池、またはアルカリ乾電池とマンガン乾電池など種類の違う電池を混ぜてご使用にならないでください。
❸乾電池は絶対に充電しないでください。
❹長期間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、液もれによってリモコンが破損することがないよう、電池を取り出しておいてください。
❺万が一液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と交換してください。

プログラム再生

●メモリー登録

始めにプログラム再生する曲を登録します。登録は、停止状態で行います。
❶リモコンのPROGRAMボタンを押します。ディスプレイに"PRGM"の表示が出て曲番の"1"が点滅、曲順の"1"が点灯します。



❷テンキーボタンを押して希望の曲番号を選択します。テンキーボタンを押すだけで自動的に登録されます。例) テンキーの5を押すと、曲番に "5" が点灯し、曲順1にトラック5が登録されます。次にテンキー3を押すと、トラック3が曲順2に登録されます。

複数の曲を登録するにはテンキーボタンを続けて押します。登録された曲数は、ディスプレイの右側に曲順として表示されます。最大32曲まで登録できます。

※ CDに入っている最大トラック数より大きい数値を入力すると自動的に最終トラックが選ばれることがあります。

※曲順2以降は、スキップ I◀◀/▶▶I ボタンを押して希望の曲番号を点滅させ、リモコンのPROGRAMボタンを押して登録することもできます。この場合は、希望の曲番号を点滅させた後、その都度PROGRAMボタンを押して登録します。

❸STOP ■ ボタンを押して登録作業を終了します。順番 1 に登録した曲番が表示されます。32曲まで登録してある場合、ディスプレイに "FULL" が表示されます。

●プログラム再生

ディスプレイに "PRGM" が表示されているときに、PLAY/PAUSE▶/▮▮ボタンを押すと、登録された曲が順番に再生されます。

※通常の再生に戻る場合は、停止中にもう1度リモコンのPROGRAMボタンを押し("PRGM" 表示が消えます)、プログラムモードを解除してから操作してください。

プログラムモードに戻すには、もう1度リモコンのPROGRAMボタンを押します。

●プログラムの確認、追加、修正と削除

プログラムの確認、追加、修正と削除はプログラム再生の停止状態で行います。

❶確認

CHECKボタンを押すたびにディスプレイにトラック番号と曲順が表示されます。登録された最終曲番号までくると、次は「－－」表示となり、もう1度押すと最初に登録した曲番に戻ります。

※ STOP ■ ボタンを押すと順番1の表示に戻ります。

❷追加

プログラムに新しい曲を追加するには、STOP ■ ボタンを押し、テンキーで新しい曲番を押すと最終曲に追加できます。STOP ■ ボタンを押して、操作を完了させます。

❸修正

CHECKボタンを押して修正したい曲番を出し、テンキーで新しい曲番を押すとプログラムが上書きされます。STOP ■ ボタンを押して操作を完了させます。

❹削除

全曲削除：CLEARボタンを2秒以上押し続けます。

1 曲削除：CHECKボタンで削除したい曲番を選択しCLEARボタンを押します。

※複数曲を1曲ずつ削除する場合は、CHECK → CLEARを繰り返します。

※ CDドアを開けたり電源を切ると、登録は全て削除されます。

その他のお知らせとお願い

❶STOP ■ ボタン押さずにCDドアを開いた場合、ディスクの回転が完全に止まるまではスタビライザーとディスクに触れないでください。回転中に手を触れて回転メカニズムに無理な力がかかると、故障の原因になります。

❷ 重いスタビライザーを誤って落として他のものを破損しないようご注意ください。また、スタビライザーが変形すると、ディスクの読み取りに支障をきたすことがあります。高価な部品ですから、お取扱には十分ご注意ください。

❸スーパーリンク接続時のご注意
スーパーリンク駆動モードでは、TL3NはD/Aコンバーター側のクロック信号を共通使用します。再生中にD/Aコンバーターの入力選択をスーパーリンクへ、またはスーパーリンクから他の入力端子へ切替えると、クロック信号源が同時に切り替わりますので、再生は一旦停止します。ふたたび再生を始めるには、あらためてPLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押してください。D/Aコンバーターの入力切り換えは、再生を止めてから行うことをお勧めします。

❹ベルト交換とスピンドル軸のオーバーホールについて
ベルトドライブ方式のメカニズムで使用しているベルトは、経年変化で張力が低下してきます。症状としては、ディスクを読み込まない、音飛びがするなどです。この場合には、ベルトの交換が必要です。5年を目安にベルトの交換をお薦めします。
また、スピンドル軸も経年変化で劣化します。8年を目安にオーバーホールをお薦めします。販売店または弊社サービスセンターにお問い合わせください。

❺本機の性能を十分に発揮するには、周りからの振動を防止し、オーディオ専用ラックなど、質量の大きなしっかりとした台へ設置頂くことをお勧めします。

お手入れの仕方

●日常的なよごれは必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。からぶきで取れないよごれは薄めた中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。洗剤をご使用の場合は最後に必ず水で湿らせた布で拭き取って洗剤分が残らないようにしてください。また本機をベンジン、シンナーなどの揮発油系の液体や化学ぞうきんで拭いたり、クレンザーなどや漂白剤をご使用なさることはお避けください。また近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。

●ターンテーブルに埃が溜まっている場合、セロテープ等で埃を拭い去ってください。その際に、光学式ピックアップのレンズ部分に指などで触れないようご注意ください。

●上記のベルトやスピンドル軸以外は、本機の定期的な保守・点検は必要ありません。不具合の際の点検・修理は販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

保証とアフターサービス

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいと思ったときは、サービスをご依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービスまでご連絡ください。

症状	原因	対処法
電源スイッチを入れても反応しない	電源ケーブルがしっかり接続されていない	電源ケーブルを正しく接続してください
CD再生		
ディスクを入れても再生できない	CDドアが開いている	CDドアを完全に閉める
	ディスクが裏返しになっている	ディスクのラベル面を上にして入れる
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングする
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認する
	D/Aコンバーターやアンプ操作を間違えている	接続やセレクターの位置を確認する
音飛びがする	プレーヤーに振動やショックを与えている	設置場所を変える
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングする
ハム音が出る	ピンプラグの接触不良	ピンプラグをしっかり差し込む
チューナーにノイズが入る	本機とチーナーの設置場所が近すぎる	チューナーから離れた場所に設置するか電源を切る
リモコン操作できない	本体の電源が入っていない	電源スイッチを押す
	リモコンに電池が入っていない	電池を入れる
	リモコンの電池が弱っている	新しい電池と交換する

※本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は電源スイッチを押して一旦電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、しばらくしてから再び接続し電源を入れてあらためて操作してください。

●保証について

1. この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえで取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より2年です。保証期間中は保証書の記載内容により、お買い上げ販売店または弊社が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

●サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、お買い上げのお店または弊社サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日
4. お名前、住所、電話番号

主な仕様

再生可能ディスク	一般音楽CD, ファイナライズ済み音楽用CD-R/RW
スピンドル駆動方式	ベルトドライブ
ピックアップ駆動方式	ベルトドライブ
CDスタビライザー	直径約70mm, 質量約330g(真鍮製)
デジタル出力	Superlink x 1(BNC x 4): 2.5Vp-p/75Ω
	AES/EBU x 1(2番ホット): 2.5Vp-p/110Ω
	COAXIAL x 1: 0.5Vp-p/75Ω
	TOS x 1: -21 〜 -15dBm EIAJ
ワードクロック入力	BNC x 1: 44.1kHz
電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	7W
外形寸法	約435（W） x 320（D） x 109（H）mm（レッグ、ボタン、端子含む）
質量	約11kg
付属品	CDスタビライザー、 ACコード、 リモコン、単4形乾電池2本、取扱説明書、 保証書
外観色	シルバー / ブラック(数量限定)

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なる事があります。

予めご了承ください。

C.E.C.

CEC株式会社　http://www.cec-web.co.jp

サービスセンター : 有限会社エステック　修理センター

〒370-0535　群馬県邑楽郡大泉町寄木戸1316-5
TEL: 0276-49-5036　FAX: 0276-62-8341

1501-E